

# 天然物化学分野

## 論文

### A 欧文

#### A-a

1. Orejola J, Luz MA, Matsuo Y, Saito Y, Morita K, Tanaka T: Characterization and cytotoxicity of ellagitannins from *Stachyurus praecox* fruit. *Tetrahedron* 75: 4042-4052, 2019 (IF: 2.379)
2. Nectoux AM, Abe C, Huang SW, Ohno N, Tabata J, Miyata Y, Tanaka K, Tanaka T, Yamamura H, Matsui T: Absorption and metabolic behavior of hesperidin (rutinosylated hesperetin) after single oral administration to Sprague-Dawley rats. *J Agric Food Chem*, 67: 9812-9819, 2019 (IF: 3.571)
3. Morikawa H, Okuda K, Kunihira Y, Inada A, Miyagi C, Matsuo Y, Saito Y, Tanaka T: Oligomerization mechanism of tea catechins for tea roasting. *Food Chem* 285: 252-259, 2019 (IF: 5.399)
4. Era M, Matsuo Y, Saito Y, Nishida K, Jiang ZH, Tanaka T: Ellagitannins and related compounds from *Penthorum chinense*. *J Nat Prod* 82: 129-135, 2019 (IF: 4.257)
5. Saito Y, Iga S, Hoshiyama K, Nakashima K, Okamoto Y, Kuroda C, Gong X, Tori M: Eremophilane, bakkane, secoeremophilane, and secobakkane sesquiterpenoids from *Ligularia virgaurea* collected in China. *Tetrahedron* 75: 2239-2245, 2019 (IF: 2.379)
6. Saito Y, Ichihara M, Takiguchi K, Ohsaki A, Okamoto Y, Kuroda C, Gong X, Tori M: Bisabolane, oplopane, and lignan constituents of *Cremanthodium campanulatum* collected in China. *Nat Prod Commun* 14: 1-8, 2019 (DOI: 10.1177/1934578X19863582) (IF: 0.554)
7. Okamoto Y, Nakadozono Y, Shiojiri K, Suehiro S, Saito Y, Matsuo Y, Tanaka T, Kuroda C, Tori M, Gong X, Hanai R: Diversity of furanoeremophilane composition in *Ligularia tongolensis*. *Nat Prod Commun* 14: 1-7, 2019 (DOI: 10.1177/1934578X19878937) (IF: 0.554)
8. Wakamatsu H, Tanaka S, Matsuo Y, Saito Y, Nishida K, Tanaka T: Reductive metabolism of ellagitannins in the young leaves of *Castanopsis sieboldii*. *Molecules* 24: 4279, 2019 (IF: 3.060)

#### A-b

1. Tori M, Saito Y, Gong X, Kuroda C: Chemical studies of *Cremanthodium* (Asteraceae) species; sesquiterpenoids and related compounds. *Nat Prod Commun* 14: 1-9, 2019 (DOI: 10.1177/1934578X19878594) (IF: 0.554)

### B 邦文

#### B-c

1. 田中 隆; 松尾洋介: 紅茶ポリフェノールの生成機構. 立花宏文(編): 茶ポリフェノールの生理機能と応用展開, シーエムシー出版: 東京, pp 183-189. 2019.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
2	0	0	1	5	14

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
田中 隆・教授	九州支部長	日本薬学会
田中 隆・教授	理事・評議員	日本生薬学会
田中 隆・教授	関西支部委員	日本生薬学会

## 競争的研究資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
------	-------	-------	------

田中 隆・教授	日本学術振興会・学術研究助成基金助成金	代表	基盤研究 (C) 植物ポリフェノールの非酵素的酸化還元不均化機構の化学的解明と普遍性の検証
松尾洋介・助教	日本学術振興会・学術研究助成基金助成金	代表	基盤研究 (C) 紅茶ポリフェノール生成におけるカテキン類の立体選択的二量化機構の解明

## 特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
田中 隆・教授 ほか	新規抗白血病細胞剤	公開： 2001年 8月21日		特開 2001-2226276
田中 隆・教授 ほか	テアフラビン類の製造方法	公開： 2002年 4月2日		特開 2002-095415
田中 隆・教授 ほか	プロアントシアニジン含有物の製造方法	公開： 2003年 11月6日		WO 2003/090770
田中 隆・教授 ほか	プロアントシアニジン高含有物の製造方法	公開： 2003年 11月6日		WO 2003/091237
田中 隆・教授 ほか	茶の原料葉とピワ葉の揉捻加工による発酵茶および発酵茶に含有される抽出物を有効成分とする組成物	出願： 2005年 8月2日	2010年 10月13日	WO2006/013866
田中 隆・教授 ほか	発酵茶	2006年 2月2日	2010年 6月11日	特開 2007-202481
田中 隆・教授 ほか	血糖値上昇抑制用組成物およびこれを含有する飲食品	2007年 2月1日		特開 2007-231009
田中 隆・教授 ほか	発酵茶葉、発酵茶葉抽出物および飲食品	2007年 2月1日		特開 2007-228964
田中 隆・教授 ほか	粘土鉱物系複合材料とその製造方法	2006年 3月31日		特開 2007-291097
田中 隆・教授 ほか	高速液体クロマトグラフィーによる糖及び類縁アルデヒド化合物の絶対配置決定法	2006年 6月27日		特開 2008-032684
田中 隆・教授 ほか	プロアントシアニジンオリゴマーの製造方法	国際公開日 2006年 8月31日		WO 2006/090830
田中 隆・教授 ほか	発酵茶葉、発酵茶葉抽出物、血糖値上昇抑制用組成物および飲食品	2007年 2月1日	2010年 6月23日 (中国)	中国出願番号： 200710003049.2
田中 隆・教授 ほか	中性脂肪低下作用促進剤および体脂肪抑制剤	2008年 3月17日		特開 2009-221158
田中 隆・教授 松尾洋介・助教	脂溶性カテキンの製造方法	2008年 10月21日	2013年 11月25日	特開 2010-100540

田中 隆・教授 ほか	オリゴメリックプロシアニジン（OPC）の測定方法	2007年 9月27日		WO 2008/038726
田中 隆・教授 ほか	粘土鉱物系抗微生物材料			特開 2009-242337
田中 隆・教授 ほか	柿ポリフェノールオリゴマー	公開： 平成 21 年 1 月 8 日		特開 2009-001531
田中 隆・教授 ほか	コレステロール低減剤	平成 21 年 2 月 18 日		特開 2010-189321
田中 隆・教授 松尾洋介・助教 ほか	肝障害予防剤	公開： 平成 24 年 9 月 20 日		特願 2011-44830 特開 2012-180309
田中 隆・教 授ほか	Water-soluble flavonoid composition, drink, food, pharmaceutical product and cosmetic product, each of which contains same, and method for producing water-soluble flavonoid composition	Feb 28, 2014		WO 2014-JP55080
田中 隆・教授 ほか	Novel therapeutic agent for Alzheimer's disease containing polyphenol derivative.	2015 年 11 月 6 日		WO 2016072522 A1 20160512
田中 隆・教授 ほか	アルツハイマー病治療薬	2015 年 11 月 6 日		PCT/JP2015/081417
田中 隆・教授 ほか	Method of Producing Proanthocyanidin Oligomer		2019 年 1 月 22 日	US 10,183,007 B2
田中 隆・教授 ほか	Method of Producing Proanthocyanidin Oligomer		2019 年 7 月 3 日	EP 1 852 430 B1

○特筆すべき事項：

松尾洋介助教が指導する博士前期課程 1 年川副里菜さんが第 8 回食品薬学シンポジウムにて優秀発表賞を受賞